

中学生の皆さんに  
読んでほしい 30 冊

ふっさっ子スタンダード (中学生 家庭生活 10ヶ条)  
「八 集中して読書に取り組む時間をもとう。」



No.	中学校全学年向け	
71	「風が強く吹いている」 作: 三浦 しをん	箱根駅伝を目指す、純度 100%の疾走青春小説。読後の爽快感を味わってほしい。(一中・竹村先生より)
72	「夜のピクニック」 作: 恩田 陸	「歩行祭」を舞台とした青春小説。中高生の今だからこそ心に刺さるセリフがあるはず。(一中・渡邊先生より)
73	「野村ノート」 作: 野村 克也	野球好きはもちろん、すべての人に一度は読んでほしい作品。(一中・廣瀬先生より)
74	「武士道シックスティーン」 作: 菅田 哲也	張り詰めた空気や竹刀の音まで感じられる表現で描く青春エンターテインメント。(一中・竹村先生より)
75	「バッタを倒しにアフリカへ」 作: 前野 ウルド浩太郎	ユーモアあふれる文章や冒険談のような内容はもちろん、自分の好きなことに向き合う大変さと喜びを感じられる一冊。(一中・渡邊先生より)
76	「14歳からのお金の話」 作: 池上 彰	生きていく上で絶対必要なお金の知識が、わかりやすくスラスラと身に付きます。(一中・廣瀬先生より)
77	「阪急電車」 作: 有川 浩	ローカル線の中で、たまたま乗り合わせた人たちの様々な人間模様を描く短編小説。(一中・竹村先生より)
78	「お探し物は図書室まで」 作: 青山 美智子	一歩を踏み出すために、そっと背中を押してくれる作品。(一中・渡邊先生より)
79	「浜村浩の計算ノート」 作: 青柳 碧人	「数学の力」でテロ事件を解決していく数学ミステリー。数学の面白さを堪能できます。(一中・竹村先生より)
80	「真夜中のパン屋さん」 作: 大沼 紀子	人とのつながりの大切さと人のぬくもりを感じさせてくれる一冊。(一中・渡邊先生より)
81	「友だちってなんだろう?」 作: 齋藤 孝	ひとりになる勇氣、人とつながる力をもつことは、友だち付き合いを無敵にする!? (二中・小口先生より)
82	「舟を編む」 作: 三浦 しをん	言葉の意味について深く考えるきっかけとなる貴重な一冊。2012 年本屋大賞受賞。(二中・佐々木先生より)
83	「やさしい猫」 作: 中島 京子	もし、自分の家族が何年も劣悪な施設に閉じ込められることになったら…。(二中・清水先生より)
84	「野球ノートに書いた甲子園」 作: 高校野球ドットコム編集部	3年間の中で、いかに野球を通じて自分の人生と向き合ったかを記したノート。(二中・栗原先生より)
85	「ほくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」 作: フレイティみかこ	多様な価値観に触れることは、早ければ早いほどいいのかもしれないと感じる本です。(二中・寺沢先生より)
86	「賢者の贈り物」 作: O. ヘンリー	クリスマスプレゼントを買うために自分の1番大切な宝物を手放してしまう夫婦の物語。(二中・小川先生より)
87	「カラフル」 作: 森 絵都	家族や友達との関係などに悩んでいる人がいたら、何か糸口が見つかるかもしれません。(二中・牧野先生より)
88	「そして、バトンは渡された」 作: 瀬尾 まいこ	始まりだけと今までのことが全て報われたと自信に変わった瞬間。最高に幸せな物語。(二中・一瀬先生より)
89	「半分、減らす。」 作: 川野 泰周	物質的な豊かさは心の豊かさにつながらないのだと改めて感じました。(二中・鈴木先生より)
90	「ちぐはぐな部品」 作: 星 新一	短時間で1つのストーリーを味わいたい人におすすめで読書のスタートにはもってこい。(二中・加藤先生より)
91	「二十一世紀に生きる君たちへ」 作: 司馬 遼太郎	21世紀を担っていく子どもたちに向けての力強いメッセージ。(三中・黒柳先生より)
92	「琥珀の夏」 作: 辻村 深月	子どもから大人へと成長している君たちに、社会や大人の役割について考えてほしいです。(三中・島田先生より)
93	「星々の悲しみ」 作: 宮本 輝	自分の人生と時間は有限、どう生きる? 約70ページの短編小説。(三中・鳥海先生より)
94	「大切なものほど、そばにある。」 作: 大野 靖之	悩んでいる人に寄り添い、一緒になって考えてくれる書籍です。(三中・黒柳先生より)
95	「ジヴェルニーの食卓」 作: 原田 マハ	四人の画家が、彼らに魅了された女性の目線から描かれています。(三中・戸田先生より)
96	「一瞬の風になれ」 作: 佐藤 多佳子	グラウンドを駆け抜けていく高校生たちの青春を感じられます。(三中・久保田先生より)
97	「鹿の王」 作: 上橋 菜穂子	壮大なスケールで危機に立ち向かう、父と子の物語。(三中・大倉先生より)
98	「まなの本棚」 編・作: 芦田 愛菜	作者と年齢が近い中学生の本選びの参考になるのではないのでしょうか。(三中・田中先生より)
99	「一度読んだら絶対に忘れない世界史の教科書」 作: 山崎 圭一	忘れかけていた世界史の内容がどんどん頭の中に入ってくる。(三中・関先生より)
100	「草原の国キルギスで勇者になった男」 作: 春間 豪太郎	自分の人生は自分で決める冒険の書。(三中・大槻先生より)

「福生市の先生が選んだ 100冊」を読んでみて、おもしろかった本はありましたか? 3学期に、iPadを使ったアンケートをしますので、読んだ本の題名や感想などを教えてください。その結果を「ふっさっ子が読んだ〇冊」としてリーフレットにまとめ、再び配布する予定です。



ふっさっ子  
福生市の



せんせい  
先生が選んだ  
えら

令和4年度版

100冊



～ふっさっ子のみなさんへ～

「ふっさっ子のみなさんにぜひ読んでほしい!」と、福生市の先生方が思っている本を、学校ごとに15冊ずつ、10校で合計150冊、教えてもらいました。このリーフレットで紹介しているのは、その中から選んだ、特におすすめの本100冊です。

- ① 読んだことのある本に「✓」を付けましょう。読んだことのある本は何冊でしたか。
- ② 新しく読んでみたい本を選び、学校の図書室や福生市の図書館などで借りましょう。
- ③ 読み終わったら「✓」を付け、友達や家族、本を紹介してくれた先生などに感想を伝えてみましょう。

年 組 名前 \_\_\_\_\_ 自分の読書の目標 \_\_\_\_\_ 冊

～保護者の皆様へ～

福生市教育委員会と小中学校長会では、福生市子ども読書活動推進計画に基づき、市内小中学校の子どもたちに読書習慣を身に付けてもらいたいと考え、「福生市の先生が選んだ100冊」を取りまとめました。このリーフレットには、福生市の先生方が、子どもたちにぜひ読んでほしいと思っている150冊の中の、選りすぐりの100冊が紹介されています。

御家庭でも、このリーフレットで取り上げられている本について話題にさせていただくなど、お子様の読書習慣が一層確かなものになるよう、お声掛けをお願いします。



しょうがくせい  
**小学生のみなさんに読んでほしい70冊**

ふっさっ子スタンダード (小学生 家庭生活10ヶ条) 「七 いろいろな種類の本を読もう。」



No.	小学校低学年 (第1学年~第2学年) 向け	✓
1	「ぐりとぐら」 作: 中川 李枝子	しょうがくせいのころ、「このホットケーキたべてみたい!」とおもった えほんです。(一小・真如先生より)
2	「パパ、お月さまとって!」 作: エリック・カール	えほんが じょうげ さゆうに ひろがるので とっても ダイナミックです。(一小・長谷川先生より)
3	「おいしそうなしろくま」 作: 柴田 ケイコ	よんでみると、きょうかん できる たべものが あるかも? (一小・新保先生より)
4	「でっこりほっこり」 作: 高島 那生	きょだいじんが せかいじゅうを マラソンすると…あら、あら、そこらじゅうが、でっこり、ほっこり。(一小・工藤先生より)
5	「うどん対ラーメン」 作: 田中 六大	この たいけつは、けっちゃんがあるのか? すべての めんずきよ、あつまれ!(二小・鷲澤先生より)
6	「かぶとおしランドセル」 作: ふくべ あきひろ	みっちゃんか かぶとおしランドセルの わらいあり なみだあり!? の おはなしです。(二小・若井先生より)
7	「ゴリラのパンやさん」 作: 白井 三香子	やさしい きもちに なる ほんです。(二小・溝辺先生より)
8	「アレクサンダとぜんまいねずみ」 作: レオ・レオニ	「ほんとうのともだち」とは なにかを かんがえる おすすめの ほんです。(三小・川口先生より)
9	「あらしのよるに」 作: きむら ゆういち	このあと、ヤギと オオカミの 2ひきは どうなるのか ドキドキします。(三小・押本先生より)
10	「ともだちや」 作: 内田 麟太郎	ほんとうの ともだちについて かんがえて みてください。(三小・大木先生より)
11	「みどりいろのたね」 作: たかどの ほうこ	しゅうかくして、たべて みると… その あじは、どんな あじ だったのでしょうか? (四小・澤口先生より)
12	「くれよんのくろくん」 作: なかや みわ	くろくんの だいかつやくで、みんな すてきな いちめんが あるよと おしえてくれます。(四小・重田先生より)
13	「5ひきのすてきなねずみ おんかくかいのよる」 作: たしろ ちさと	おんかくが みんなを ひとつに してくれる、そんな いっさつです。(四小・柳谷先生より)
14	「にじいろのさかなとおおくじら」 作: マーカス・フィスター	ゆうきをもって はなすことの たいせつさも おしえてくれます。(五小・渡部先生より)
15	「勇気」 作: バーナード・ウェーバー	たくさんの 「ゆうき」が でてくる えほんです。(五小・須藤先生より)
16	「めのまどあけろ」 作: 谷川 俊太郎	ことばが リズミカルで おもわず くちずさみたく なります。(五小・石川先生より)
17	「おいしいのぼうけん」 作: ふるたたるひ、たばた せいりち	おとこ どうしの ゆうじょうに とても かんどうします。(六小・前野先生より)
18	「てん」 作: ピーター・レイノルス	じぶんが できることを みがいて いけば、じぶんの ちからに なることを おしえてくれます。(六小・細谷先生より)
19	「ぼあぼは、だいじょうぶ」 作: 楠 章子	やさしい ぼあぼと かぞくの つながりを えがいた おはなしです。(六小・小林先生より)
20	「どこからきたの? おべんとう」 作: 鈴木 まもる	ひとつの おべんとうから せかいの つながりが みえてきます!(七小・兼保先生より)
21	「みずいろのぞう」 作: nakaban	みずいろの ぞうと いっしょに、どこまでも とおくへ いったりませんか。(七小・安木先生より)
22	「ふらいばんじいさん」 作: 神沢 利子	まるで、いっしょに たびを している ようで、たのしい ほんです。(七小・川上先生より)
23	「100円たんけん」 作: 中川 ひろたか	おかねの やくわりや ものの ねうちについて、ちょっと かんがえて みませんか。(七小・山田先生より)

No.	小学校中学年 (第3学年~第4学年) 向け	✓
24	「エルマーのぼうけん」 作: ルース・スタイルス・ガネット	エルマーといっしょに大ぼうけんをたのしんでください。(一小・瀬川先生より)
25	「まほうのじどうはんばいき」 作: やまだ ともこ	自動販売機のボタンを押すと、なんとカプトムシが出てきました。ラストは感動します!(一小・三上先生より)
26	「ダレン・シャン」 作: ダレン・シャン	主人公が、さまざまな出来事の中で自分の意志の大切さに気付いていきます。(一小・高橋先生より)
27	「世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ」 編: くさば よしみ	「しあわせとは何か」ということへの一つの書かれています。(二小・梅田先生より)
28	「盲導犬クイールの一生」 作: 石黒 謙吾	出会いと別れ、きずなを感じるお話です。(二小・釜谷先生より)
29	「グリム童話」 作: J.グリム、W.グリム	シンデレラ、ラプンツェル、白雪姫など、ぜひ読んでほしい物語ばかりです。(二小・湊先生より)
30	「ことばのかたち」 作: おーなり 由子	自分が話す「ことば」を大切にしたい、そう思える本です。(二小・拜原先生より)
31	「電池が切れるまで」 作: 宮本 雅史	つらい病気とたたかいながら、たくましく生きる子どもたちと家族の本当の物語。(三小・鈴木先生より)
32	「かあちゃん取扱説明書」 作: いとう みく	かあちゃんを思い通りに動かしたい! 哲哉の心の変化に注目です。(三小・孔先生より)
33	「葉っぱのフレティ」 作: レオ・バスカーリア	「いのち」とは何か、そして「生きる」とは何かをこの本から感じてほしいです。(三小・西村先生より)
34	「すみれ島」 作: 今西 祐行	この平和な毎日が本当に素晴らしいことだと感じます。(四小・佐藤先生より)
35	「ルリユールおじさん」 作: いせ ひでこ	ルリユールおじさんのお店を探して、図鑑を直してもらおうお話。絵がとてもすてきです。(四小・越智先生より)
36	「カレーライスを一から作る」 作: 前田 亜紀	映画を書籍化したノンフィクションです。学生たちの変化に注目してください。(四小・高野先生より)
37	「バッテリー」 作: あさの あつこ	二人で様々なこんな立ち向かっていく野球少年たちの物語です。(四小・土屋先生より)
38	「スーフとあめだま」 作: フレイティみかこ	ボランティア活動の大切さがよく伝わる本だと思います。(五小・関戸先生より)
39	「きみの声がききたくて」 作: オーウェン・コルフアー	読めばきっと、お互いを思う二人の心が伝わってくるはず。(五小・小山先生より)
40	「なんだろう なんだろう」 作: ヨシタケシンスケ	この本をきっかけに、身の回りのことを見直せるといいですね。(五小・高橋先生より)
41	「一さつのおくりもの」 作: 森山 京	大人も子どももおくりものについて考えさせられる物語です。(六小・小畑先生より)
42	「先生、しゃくだいいわれました」 作: 山本 悦子	自分だったらどんなことを言うか考えてみてください。(六小・長沼先生より)
43	「霧のおこりのふしぎな町」 作: 柏葉 幸子	映画「千と千尋の神隠し」のモデルになった物語とされています。(六小・窪田先生より)
44	「10歳のミッション」 作: 雷藤 孝	子どもたちが生きていく上で大切なスキルが書かれています。(七小・吉成先生より)
45	「せいめいのれきし」 作: バージニア・リー・パートン	今の地球のことを考えるきっかけにもなれば、と思います。(七小・坂本先生より)
46	「魔女の宅急便」 作: 角野 栄子	主人公のキキの姿からたくさんの勇気をもらえます。(七小・大町先生より)

No.	小学校高学年 (第5学年~第6学年) 向け	✓
47	「ぼくらの七日間戦争」 作: 宗田 理	東京下町にある中学校の1年2組の男子生徒全員が姿を消した。いったいどこへ?(一小・久下先生より)
48	「ぼくたちはなぜ、学校へ行くのか」 作: 石井 光太	頭を銃で撃たれ、奇跡的に回復した15歳の少女マララさんは世界に向けて演説をします。(一小・市毛先生より)
49	「東大教授がおしえるやばい日本史」 監修: 本郷 和人	歴史上の人物の「すごいこと」や「やばいこと」など面白い話がたくさん書かれています。(一小・市川先生より)
50	「船乗りクワックの冒険」 作: 北 杜夫	仲間との不思議でワクワクする冒険。最後のオチも意外です。(二小・白濱先生より)
51	「君の涙をたべたい」 作: 住野 よる	この本を読むと、「ありがとう」や「ごめんね」を伝えたいときに伝えておこうと思えます。(二小・岡田先生、長幡先生より)
52	「ラグビーが教えてくれること」 作: 村上 晃一	ラグビーをする上で欠かせない五つの言葉。それは「品位・情熱・結束・規律・尊重」です。(二小・浅井先生より)
53	「モモ」 作: ミヒャエル・エンテ	自分の「時間」をもう一度見直すきっかけとなる物語です。(三小・佐藤先生より)
54	「世界がもし100人の村だったら」 再話: 池田 香代子	「世界にはいろいろな人がいること」を知るきっかけにしてください。(三小・島真先生より)
55	「赤毛のアン」 作: L.M.モンゴメリ	明るく前向きに成長し、幸せをつかんでいくアンに心温まります。(三小・押本先生より)
56	「こども六法」 作: 山崎 聡一郎	日頃、疑問に思っていることが、この本を読むと分かるかもしれません。(三小・田ノ上先生より)
57	「思わず考えちゃう」 作: ヨシタケシンスケ	ゆる〜い感じの本ですが、とてもふか〜い本です。(四小・上原先生より)
58	「きまぐれロボット」 作: 星 新一	小説が苦手な人でも簡単に読めて、本が好きになります。(四小・戸島先生より)
59	「そして五人がいなくなる」 作: はやみね かおる	あなたは全ての謎を解き明かすことができるでしょうか。(四小・原島先生より)
60	「教室はまちがうところだ」 作: 崎田 晋治	あたたかく学んでいける教室にしてくださいね。(五小・水島先生より)
61	「ありがとう、さようなら」 作: 瀬尾 まいこ	先生の目になって学校生活をのぞき込む体験をしてみてください。(五小・吉田先生より)
62	「なぜ? どうして? 科学のお話 6年生」 監修: 大山 光晴	身近な科学の疑問に答える楽しいお話が収録されています。(五小・大野先生より)
63	「5000キロ逃げたアーマット」 作: オンジャリQラウフ	この本をきっかけに「難民問題」について考えてみませんか。(五小・馬場先生より)
64	「ふるさとは、夏」 作: 芝田 勝茂	夏休みに父の故郷を訪れた主人公に不思議な出会いが続きます。(六小・榎並先生より)
65	「星の王子さま」 作: サン・テグジュペリ	目に見えない、本当に大切なこととは何かを考えさせられます。(六小・田村先生より)
66	「ビルマの竖琴」 作: 竹山 道雄	水島上等兵は、抵抗を続ける他の部隊の説得を試みるが…。(六小・中島先生より)
67	「武器より一冊の本をください」 作: ヴィヴィアナ・マッツァ	マララの聡明さと勇敢さに励まされる一冊です。(六小・麻生先生より)
68	「精霊の守り人」 作: 上橋 菜穂子	物語の世界観にどっぷりつかって楽しんでほしい作品です。(七小・石井先生より)
69	「キミならきっと大丈夫」 作: 船口 明	タイトルのとおり、読むと元気と勇気と希望が湧いてくる本です。(七小・藤原先生より)
70	「きみの友だち」 作: 重松 清	自分にとって「友だち」って何だろう。「なかま」って何だろう。(七小・藤島先生より)

自分の学年以外の本も読んでみましょう。読み終わったら、チェック欄に「✓」を付けてください。

※ このリーフレットの作成には、福生市立図書館のみなさんにも、たくさん協力していただきました。本当にありがとうございました。